

高等学校 令和7年度

教科 地理歴史 科目 地理総合

対象学年組： 第 2 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 門脇 卓也

使用教科書： 発行者 第一

教科書記号・番号 地総706

教科書名 高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる

発行者 帝国

教科書記号・番号 地図702

教科書名 新詳高等地図

教科「地理歴史」の目標	
【知識及び技能】	地理的特色や歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能などを身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明する力などを養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度などを養う。

科目「地理総合」の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる事象について、多様性や地球の課題の取り組みを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて様々な情報などを活用し、適切かつ効果的にまとめられるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色などを、現在とのつながりなどに着目して考察したり、社会に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力などを養う。	地理に関わる事象について、より良い社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に追及し、解決しようとする態度などを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	球面上の世界と地図 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、自らの答えを出そうとしている	・指導事項 地理を学ぶとは ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	5
	国家の結びつきとグローバル化する社会 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、自らの答えを出そうとしている	・指導事項 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	生活文化の多様性と国際理解(1)地形と生活 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、自らの答えを出そうとしている	・指導事項 生活文化の多様性と国際理解(1) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	8
	生活文化の多様性と国際理解(2)気候と生活 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、自らの答えを出そうとしている	・指導事項 生活文化の多様性と国際理解(2) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	地球的課題と国際協力(1) 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、 自らの答えを出そうとしている	・指導事項 地球的課題と国際協力 (1) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	8
	地球的課題と国際協力(2) 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、 自らの答えを出そうとしている	・指導事項 地球的課題と国際協力 (2) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	地球的課題と国際協力(3) 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、 自らの答えを出そうとしている	・指導事項 地球的課題と国際協力 (3) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	12
	地球的課題と国際協力(4) 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、 自らの答えを出そうとしている	・指導事項 地球的課題と国際協力 (4) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○		1
	定期考査			○	○		1
3 学 期	持続可能な地域づくり(1) 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、 自らの答えを出そうとしている	・指導事項 持続可能な地域づくり (1) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	6
	持続可能な地域づくり(2) 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、 自らの答えを出そうとしている	・指導事項 持続可能な地域づくり (2) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	4
	持続可能な地域づくり(3) 【知識及び技能】 学習内容について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容について思考している 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項やこれからの学びについて、 自らの答えを出そうとしている	・指導事項 持続可能な地域づくり (3) ・教材 教科書、地図帳、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて調査活動をする、まとめたことをTeamsに入力する	【知識・技能】 主に学習内容についての知識を得ている 【思考・判断・表現】 学習内容を踏まえて考察し、問題に取り組み、自身の考えなどを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒同士のコミュニケーションでの発言や発表、効果的な問いを発するなど授業への参加の度合、ワークシートを仕上げて提出するなど積極的な態度がみられる	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
							合計
備考							70

高等学校 令和7年度

教科 家庭 科目

対象学年組： 第 2 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 永井 悠子

使用教科書： 発行者 第一 教科書記号・番号 家基710 教科書名 家庭基礎 自立・共生・創造

教科 「家庭」 の目標

【知識及び技能】	各分野において自立のための基礎知識と技術を身につけさせる
【思考力、判断力、表現力等】	自分の生活を豊かにするための工夫をすることができる
【学びに向かう力、人間性等】	自分の生活における問題提起と解決策を主体的に考えることができる

科目 「 」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各分野の知識と技能を自分の生活におとしこみ、自	生活の知識と技能を得ることにより自分の生活をよ	自らの生活を振り返りよりよい生活を送るための努

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学期	これからの生き方と家族 【知識及び技能】 家族の種類、多様化を理解する。 家族法に関する法律を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージと発達課題を理解し自分のこれからの生活設計を立てる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族の形や家庭環境の変化を理解し新しい環境に適応する	・指導事項 家族の単位では家族にとって良くない感情や劣等感を感じる生徒もいるため注意し進める。現代では多様な家族が受け入れられるようになっているためこれからの家族未来に対して前向きな気持ちを発展させる。 ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 家族法の知識と実生活の結びつきができてい か 【思考・判断・表現】 ライフステージと発達課題をもとにこれからのライフプランが立てられているか 【主体的に学習に取り組む態度】 今の自分の家族生活を受け入れ課題を見つけ今後の家族生活に役立てられるか	○	○	○	5
	次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 子どもの特徴や生活を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの特性を理解した上で子どもの対応について考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 自分が子どもであったことを思い出し子どもがいる社会の大切さ、関わり方を考えることができる	・指導事項 高校生と乳幼児の違いを理解し子どもと子どもを持つ親との関わり方を考えられるようにする。 ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 乳幼児の身体的特徴、心的特徴を理解する 【思考・判断・表現】 乳幼児の特性を理解した上で乳幼児との関わり方を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもがいる社会について自分自身もそこに生活する身であることを理解し自分にできることを考えることができる	○	○	○	5
	定期考査						
	子育て支援と福祉 【知識及び技能】 地域社会と子育て支援について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの持つ権利について理解し今後の子どもを取り巻く環境について考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの育つ環境について考えることができる	・指導事項 現在子どもが置かれている社会環境について理解しこれから自分たちができることは何か考えさせる ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 子どもの権利について理解する 【思考・判断・表現】 現在の子育て支援、子育て環境、権利について理解し自分が子どもを育てることになった時のことを考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	衣生活を作る 【知識及び技能】 衣服の役割、性能、手入れなどを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 衣服による自己表現について考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 毎日着用するものであることから有意義な衣生活をおくれるよう考えることができる	・指導事項 購入から廃棄まで一連の流れで衣服をとらえて生活に取り入れられるようにする。 ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 衣服の役割、素材の性質性能、手入れの仕方などの知識をつけ手入れの技術をつける 【思考・判断・表現】 衣服は自己表現にもなることを理解し快適でかつ自分らしい着用を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活を見直し、今着ている服の手入れの仕方や性能を考え今度の衣生活を改善することができる	○	○	○	5

	定期考查						1
--	------	--	--	--	--	--	---

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
2 学 期	衣服実習 【知識及び技能】 手縫いやミシン縫いの技術の習得 【思考力、判断力、表現力等】 基礎縫いをもとに日々の修繕に役立てることができる 【学びに向かう力、人間性等】 衣服実習に主体的に取り組むことができる	・指導事項 エプロン作りを通し衣服の構成、縫製を知り、普段の生活で出る簡単な修繕は自分でできるようにする ・教材 教科書 布など	【知識・技能】 エプロン作りを通し基本的な縫い方や衣服の構成を理解する 【思考・判断・表現】 基本的な縫い方をしり日々の簡単な修繕に役立てることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組むことができる	○	○	○	8
	衣服実習 【知識及び技能】 手縫いやミシン縫いの技術の習得 【思考力、判断力、表現力等】 基礎縫いをもとに日々の修繕に役立てることができる 【学びに向かう力、人間性等】 衣服実習に主体的に取り組むことができる	・指導事項 エプロン作りを通し衣服の構成、縫製をしり、普段の生活で出る簡単な修繕は自分でできるようにする ・教材 教科書 布など	【知識・技能】 エプロン作りを通し基本的な縫い方や衣服の構成を理解する 【思考・判断・表現】 基本的な縫い方をしり日々の簡単な修繕に役立てることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服実習に意欲的に取り組むことができる	○	○	○	6
	定期考査						
	住生活をつくる 【知識及び技能】 住居の役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 住居の役割を理解し快適な住空間を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 自分の家の問題点を探すことができ、快適に過ごすための解決策を考えることができる	・指導事項 住居には事故にもつながる危険が潜むことを理解し自分の家の危険な場所はないか考え解決することができるようにする ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 住居の歴史や役割を理解する 【思考・判断・表現】 住居の役割を理解し快適に過ごすことのできる住空間を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が将来的に一人暮らしをすることを想定し自分一人の住空間を求めることができる	○	○	○	6
	経済生活をつくる 【知識及び技能】 18歳成人とカートや消費生活についての知識を得る 【思考力、判断力、表現力等】 経済的な自立を目指し、自分にあった消費行動が取れるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 現在のお金の使い方を見つめ直すことができ経済的に自立するための基盤をつくることができる	・指導事項 18歳成人になったことにより18歳でできることが増え責任も伴うことを理解させ有意義な消費生活をおくれるようにする ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 18歳でできるようになること、カートの種類や特性、契約についての知識をつける 【思考・判断・表現】 18歳で契約におけるほぼ全てのことが単独で行えるようになることをふまえた上で自分にあった消費生活を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 お金の使い方の改善点を考えることができ、これからの消費生活に反映させることができる	○	○	○	6
	定期考査						1
3 学 期	食生活をつくる 【知識及び技能】 栄養に関する基礎知識をつける 【思考力、判断力、表現力等】 毎日の食事は自分で組み立てられることからバランスよく楽しく食事ができる工夫をすることができる 【学びに向かう力、人間性等】 自分のこれまでの食生活を振り返り、改善点を探ることができる	・指導事項 食べたもので体ができていることを理解しこれからも健康的な生活ができるような食生活をおくれるようにする ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 栄養素の知識、組み合わせ、献立のたてかたなど 【思考・判断・表現】 栄養バランスが整いつつ食べることが楽しく有意義な食事となるような食生活を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の食生活を見直し、健康的な食生活になるよう解決策を考えることができる	○	○	○	6
	調理実習 【知識及び技能】 調理の知識と技術の習得 【思考力、判断力、表現力等】 調理の基礎をもとに実生活で活用できるよう考える 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に調理実習に取り組む。調理による栄養効果について知り実生活に活用できる	・指導事項 安全な実習と調理による栄養効果の知識の習得と調理技術の習得 ・教材 教科書 食材 調理器具等	【知識・技能】 調理の技術と基礎知識を学ぶ 【思考・判断・表現】 栄養の観点からどのように調理するのが向いているか考えることができ普段の生活に取り入れる工夫ができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に調理実習に取り組む	○	○	○	4
	充実した生涯へ 【知識及び技能】 高齢社会や高齢者の特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の特徴を理解した上で高齢者との付き合い方を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 現在の超高齢社会の現状を理解しこれからの高齢社会の生き抜かたを考えることができる	・指導事項 高齢社会と高齢者の特徴を理解し高齢者との触れ合い方向き合い方を考えられるようにする。また自分が高齢者になった時のことを考え将来設計を立てられるようにする ・教材 教科書 プリント	【知識・技能】 高齢社会と高齢者の特徴を理解する 【思考・判断・表現】 高齢者の特徴を理解した上でより良い付き合い方を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 これからの社会を想像することができ、高齢社会での自分らしい生き方を考えられる	○	○	○	6
	定期考査						1

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目「英語コミュニケーションⅠ」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通じて、五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実施のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができる。	言語活動を行うに当たり、言語の使用場面や言語の働きの中から、五つの領域別の目標を達成するにふさわしいものを取り上げ、有機的に組み合わせて活用できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話 [や]	話 [発]	書					
1 学 期	Lesson 6 Our School 【知識及び技能】 比較について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 比較を用いて、学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 比較を用いて、学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 比較（原級・比較級・最上級） 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、提案する、共感する／学校での学習や活動 【言語活動】 好きな教科や描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 ・ALT の活用				○	○	【知識及び技能】 比較について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学校での生活について、比較を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校での生活について、比較を用いて、考えや気持ちを話して伝えようすることができる。	○	○	○	7
	COMMUNICATE+ 1 【知識及び技能】 買い物の表現を理解し、やり取りする技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 買い物の場面で、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 買い物の場面で、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 限定しない 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、説明する、提案する、承諾する、望む、依頼する、助言する、話題を発展させる／買い物 【言語活動】 買い物の場面で、客と店員とのやり取りをする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 ・ALT の活用	○			○		【知識及び技能】 買い物の表現を理解し、やり取りする技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 買い物の場面で、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 買い物の場面で、考えや気持ちを話して伝えようすることができる。	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
	Lesson 7 Serendipity 【知識及び技能】 現在完了について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了を用いて、自分の経験やセレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了を用いて、自分の経験やセレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 現在完了 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、報告する 【言語活動】 相手の生活や経験などについてやり取りしたり、セレンディピティについてまとめて発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 ・ALT の活用				○	○	【知識及び技能】 現在完了について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了を用いて、自分の経験やセレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了を用いて、自分の経験やセレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えようすることができる。	○	○	○	7

	FOCUS+ 3 【知識及び技能】 現在完了／受動態／分詞／関係代名詞／関係副詞／仮定法について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了／受動態／分詞／関係代名詞／関係副詞／仮定法を用いて、メール、お気に入りの写真、「もしどこでもドアがあったら」というテーマについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了／受動態／分詞／関係代名詞／関係副詞／仮定法を用いて、メール、お気に入りの写真、「もしどこでもドアがあったら」というテーマについて、考えや気持ちを話して伝えよう定期考査	・指導事項 【言語材料】 現在完了／受動態／分詞／関係代名詞／関係副詞／仮定法 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、描写する／情報通信ネットワークを活用すること、手紙や電子メールのやり取り 【言語活動】 メールの内容やお気に入りの写真についてまとめて発表したり、「もしどこでもドアがあったら」というテーマでやり取りしたりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用	○			○		【知識及び技能】 現在完了／受動態／分詞／関係代名詞／関係副詞／仮定法について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了／受動態／分詞／関係代名詞／関係副詞／仮定法を用いて、メール、お気に入りの写真、「もしどこでもドアがあったら」というテーマについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了／受動態／分詞／関係代名詞／関係副詞／仮定法を用いて、メール、お気に入りの写真、「もしどこでもドアがあったら」というテーマについて、考えや気持ちを話して伝えようすることができる。	○	○	○	7
									○	○		1
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話	話	書					
2 学 期	Lesson 8 “Sapeurs” 【知識及び技能】 受動態について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 受動態 【言語の働き、言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、感謝する、褒める、説明する 【言語活動】 服装や平和のシンボルについてやり取りしたり、大切なものについてまとめて発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用	○			○		【知識及び技能】 受動態について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えようすることができる。				7
	COMMUNICATE+ 2 【知識及び技能】 道案内の表現を理解し、やり取りする技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 道案内の表現を理解し、やり取りする技能を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 道案内の場面で、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 限定しない 【言語の働き、言語の使用場面】 質問する、説明する、感謝する 【言語活動】 道案内をする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用	○			○		【知識及び技能】 道案内の表現を理解し、やり取りする技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 道案内の表現を理解し、やり取りする技能を身につけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 道案内の場面で、考えや気持ちを話して伝えようすることができる。				7
	定期考査											1
	Lesson 9 “Special Makeup Effects” 【知識及び技能】 分詞の形容詞的用法について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞の形容詞的用法を用いて、好きな映画などについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞の形容詞的用法を用いて、好きな映画などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 分詞の形容詞的用法 【言語の働き、言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、共感する、賛成する／テレビや映画、動画、ラジオなどを見たり、聞いたりすること 【言語活動】 好きな俳優や映画についてやり取りしたり、それらをまとめて発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用		○			○	【知識及び技能】 分詞の形容詞的用法について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞の形容詞的用法を用いて、好きな映画などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞の形容詞的用法を用いて、好きな映画などについて、考えや気持ちを話して伝えようすることができる。				7

	Lesson 10 “Clean Water” (Part1) 【知識及び技能】 関係代名詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 関係代名詞 【言語の働き、言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、共感する、話題を発展させる、共感する、驚く 【言語活動】 好きな飲み物や平和に寄与した有名人、将来の夢などについてやり取りしたり、水分の摂り方についてまとめて発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用	○												6
	定期考査														1
3学期	Lesson 10 “Clean Water” (Part 2) 【知識及び技能】 関係代名詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 関係代名詞 【言語の働き、言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、共感する、話題を発展させる、共感する、驚く 【言語活動】 好きな飲み物や平和に寄与した有名人、将来の夢などについてやり取りしたり、水分の摂り方についてまとめて発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用	○	○											6
	Reading “tupera tupera” 【知識及び技能】 さまざまな語彙や表現を理解し、絵本を読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 絵本の概要や要点を読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 絵本の概要や要点を読み取るようにしている。	・指導事項 【言語材料】 限定しない 【言語の働き、言語の使用場面】 本、新聞、雑誌などを読むこと 【言語活動】 絵本の内容やおもしろかった点などについて、やり取りする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用	○	○											7
	定期考査														1
備考															合計 71

高等学校 令和7年度

教科 機械

科目 機械実習

対象学年組： 第 2 学年 M 組

単位数： 4 単位

教科担当者： 佐藤 祐次

使用教科書： 発行者

教科書記号・番号

教科書名

教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、機械技術の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 「機械実習」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械の各分野に関する基礎的な知識と技術をもつ。機械技術の発展と環境・資源などの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。	機械技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	機械技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	「機械実習」を学ぶにあたって 【知識及び技能】 ものづくりが機械技術の中での役割についての知識と技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 技術者として、人と社会のかかわりや工業技術が担う役割を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 機械の各分野に共通に必要な基礎的な知識、技術、態度を実験・実習を通して習得する意義を理解させる。	・指導事項 「機械実習」では、実習・実験を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。	【知識・技能】 学ぶ目的を理解し、機械の各分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験・実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 何を学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械の共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験・実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	4
	フライス盤 【知識及び技能】 フライス盤の基本作業を知識を習得し、加工技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 フライス盤作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 フライス盤作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・指導事項 フライス盤では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。	【知識・技能】 フライス盤を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 フライス盤作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 フライス盤の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	26
	旋盤 【知識及び技能】 旋盤の基本作業を知識を習得し、加工技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 旋盤作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 旋盤作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・指導事項 旋盤では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。	【知識・技能】 旋盤を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 旋盤作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋盤の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	26

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	原動機（汎用エンジン） 【知識及び技能】 分解組立の基本作業を知識を習得し、分解組立の技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 分解組立作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 分解組立作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・指導事項 ロビンエンジンの分解組立では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。	【知識・技能】 分解組立を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 分解組立作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 分解組立の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	28
	木工 【知識及び技能】 木工の基本作業を知識を習得し、鍛造の技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木工作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 木工作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・指導事項 木工では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。	【知識・技能】 木工を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 木工作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 木工の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	28
3 学 期	鍛造 【知識及び技能】 鍛造の基本作業を知識を習得し、鍛造の技術を身につけてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鍛造作業を適切に思考・判断し、作業法について表現できる技量を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 鍛造作業に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・指導事項 鍛造では、実習を中心に学習が展開されるので、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につけさせる。	【知識・技能】 鍛造を学ぶ目的を理解し、知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 鍛造作業を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 鍛造の知識や技術に興味・関心を持つとともに、実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	28
備 考							合計 140

【知識及び技能】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目「機械製図」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械技術の伝達は文書だけでなく、図面が必要な場合が多い。製図に関する基礎的な知識と技術を身につけ、機械技術者としての知識、技能を習得する。	正しく、明瞭に、迅速に、図面を作成する能力を、基礎的な投影図から機械製図を描けるまでの能力を身につけさせる。	図面によって製品を実際に製作するので、製図の興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ機械製図を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学期	「機械製図」を学ぶにあたって 【知識及び技能】 基礎的な機械製図の知識と技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 機械技術者として、図面と機械技術との担う役割を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 図面の基礎的な知識、技術、態度を機械製図を通して習得する意義を理解させる。	・指導事項 「機械製図」では、図面を描くことを中心に学習が展開されるので、製図に関する知識の大切さをよく理解し、そのための技術を身につける。	【知識・技能】 学ぶ目的を理解し、図面に興味・関心を持つとともに、自主的に製図に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 何を学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械製図の共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、製図に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	1
	図面に用いる文字と線 【知識及び技能】 文字や線は複写した場合でも読み誤り起こさないよう、正しい描き方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 品物の形状など容易に明瞭にわかるように描く技量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 文字と線の描き方に主体的に取り組む態度を身につける。	・指導事項 機械製図では、図面を描く学習が展開されるので、正しく、明瞭に、迅速に、図面を作成する能力と技術を身につける。	【知識・技能】 文字や線を正確に描くことを理解し、図面に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 機械製図を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械製図の知識や技術に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	13
	投影図の書き方 【知識及び技能】 第三角法による投影図の正しい描き方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 品物の形状など容易に明瞭にわかるように描く技量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 投影図に主体的に取り組む態度を身につける。	・指導事項 機械製図では、図面を描く学習が展開されるので、正しく、明瞭に、迅速に、図面を作成する能力と技術を身につける。	【知識・技能】 投影図を正確に描くことを理解し、図面に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 機械製図を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械製図の知識や技術に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	14

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	等角図の書き方 【知識及び技能】 等角図の正しい描き方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 品物の形状など容易に明瞭にわかるように描く技量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 等角図に主体的に取り組む態度を身につける。	・指導事項 機械製図では、図面を描く学習が展開されるので、正しく、明瞭に、迅速に、図面を作成する能力と技術を身につける。	【知識・技能】 等角図を正確に描くことを理解し、図面に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 機械製図を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械製図の知識や技術に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	14
	製作図の書き方 【知識及び技能】 製作図の正しい描き方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 品物の形状など容易に明瞭にわかるように描く技量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 製作図に主体的に取り組む態度を身につける。	・指導事項 機械製図では、図面を描く学習が展開されるので、正しく、明瞭に、迅速に、図面を作成する能力と技術を身につける。	【知識・技能】 製作図を正確に描くことを理解し、図面に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 機械製図を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械製図の知識や技術に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	14
3 学 期	ボルト・ナットの書き方 【知識及び技能】 ボルト・ナットの正しい描き方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 品物の形状など容易に明瞭にわかるように描く技量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ボルト・ナットの製図に主体的に取り組む態度を身につける。	・指導事項 機械製図では、図面を描く学習が展開されるので、正しく、明瞭に、迅速に、図面を作成する能力と技術を身につける。	【知識・技能】 ボルト・ナットを正確に描くことを理解し、図面に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 機械製図を適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械製図の知識や技術に興味・関心を持つとともに、機械製図に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	14
備 考							合計 70

【知識及び技能】	社会生活に必要な国語の特質を理解し、適切に使用できる知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	社会の中で他者と関わるための伝え合う力、深く考える力、自ら表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉の持つ力を認識し、言語感覚を磨き、国語と我が国の言語文化を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

科目「言語文化」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識・技能を身につける。我が国の言語文化について理解を深める。	論理的に考える力、他者と共感する力、自分を表現する力を養う。	言葉を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。我が国の言語文化に親しみ、読書に取り組む力をはぐくむ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 漢文編1 漢文入門 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得・漢文の基本的知識 【思考力、判断力、表現力等】故事成語の理解・読んで考えたことをまとめる 【学びに向かう力、人間性等】漢文を通じて学ぶということを考える	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 漢文の基本的知識 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか・書き下し文に直せるか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
	C 単元 現代文編4 小説2 羅生門 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得・文学史 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解する・単元を踏まえた課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか・近現代の文学史を理解したか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15

D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
定期考査				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	E 単元 古文編1 古文入門 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得・古文の基本的知識 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解する・単元を踏まえた課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 古文の基本的知識 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 古文の基本的知識が身についたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	F 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
	G 単元 現代文編5 小説3デューク 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得・読書案内 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解する・単元を踏まえた課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 教材を適切に読み取り、自分の感想を書けたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	H 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
3 学 期	I 単元 古文編2 随筆 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得・古典の三大随筆 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解する・単元を踏まえた課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 古文の基本的な事項が理解できたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	J 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	K 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1

備考		合計 75
----	--	----------

高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学Ⅰ

対象学年組： 第 学年 M 組 単位数： 単位 教科担当者：

使用教科書： 発行者 第一 教科書記号・番号 数1718・719 教科書名 新編数学Ⅰ 新編数学Ⅰ サポートブック

教科 「数学」 の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 「数学Ⅰ」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや、変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	2章 2次関数のグラフ 【知識及び技能】 2次関数の表し方を理解し、文字を用いて関数を表すことができるようになる。頂点の求め方や、グラフの特性を理解する。平方完成を利用して、いろいろな2次関数のグラフがかけられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフをかく過程を考察しようとする。 2次関数の形の特徴をとらえ、グラフをかく過程を見通しよく行う手段を見出そうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数は左右対称であることに気づき、グラフの頂点を求める過程において、その法則を活用しようとする。平方完成のやり方を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。	・指導事項 2次関数のグラフ 平方完成 ・教材 教科書・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 2次関数のグラフをかくことができる。平方完成を活用し、2次関数の一般系から標準形にすることができる。 【思考・判断・表現】 2次関数のグラフを描く過程を考察することができる。 2次関数の形の特徴をとらえ、グラフをかく過程を見通しよく行う手段を見出そうとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数は左右対称であることに気づき、グラフの頂点を求める過程において、その法則を活用しようとしている。 平方完成のやり方を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						
	2章 2次方程式・2次不等式 【知識及び技能】 因数分解・解の公式を適切に用いて2次方程式を解くことができるようになる。 2次関数のグラフの特性、共有点の個数を理解し、2次不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次不等式を2次関数として考え、グラフを活用して解く手段を見出そうとしている。 2次方程式の形の特徴をとらえ、因数分解か解の公式かを判断することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフを活用して、判別式や2次不等式の表す意味を理解できるようになる。	・指導事項 2次方程式 判別式 2次不等式 ・教材 教科書・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 因数分解・解の公式を適切に用いて2次方程式を解くことができるようになる。 2次関数のグラフの特性、共有点の個数を理解し、2次不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次不等式を2次関数として考え、グラフを活用して解く手段を見出そうとしている。 2次方程式の形の特徴をとらえ、因数分解か解の公式かを判断することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフを活用して、判別式や2次不等式の表す意味を理解できるようになる。	○	○	○	15
	定期考査						

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
2 学 期	3章 図形と計量 三角比 【知識及び技能】 サイン・コサイン・タンジェントを求めることができるようになる。 三角比を用いて、距離を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 角度を比としてみることで直角以外でも長さを求められるようになる。 三角比の相互関係を用いて、1つの三角比から他の三角比を求められるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比の特徴を理解し、鋭角ではなく鈍角でも活用できることを理解させる。	・指導事項 特定の角度の三角比 相互関係 ・教材 教科書・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 サイン・コサイン・タンジェントを求めることができるようになる。 三角比を用いて、距離を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 角度を比としてみることで直角以外でも長さを求められることを理解している。 三角比の相互関係を用いて、1つの三角比から他の三角比を求める過程を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比の特徴を理解し、鋭角ではなく鈍角でも活用できることを理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						
	3章 正弦定理・余弦定理・三角形の面積 【知識及び技能】 正弦定理・余弦定理を用いて長さを求められるようにし、また、三角形の面積公式を用いて面積を求めるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 余弦定理や三角形の面積公式は中学校で学んだ三平方の定理や公式の派生形であることを理解させる。 与えられている三角形の長さや角度から判断して、適切に正弦・余弦定理を活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理・余弦定理・面積公式を活用して、三角形の長さ・角度・面積を求める過程を見出そうとしている。	・指導事項 正弦定理・余弦定理 三角形の面積 ・教材 教科書・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 正弦定理・余弦定理を用いて長さを求められるようにし、また、三角形の面積公式を用いて面積を求めるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 余弦定理や三角形の面積公式は中学校で学んだ三平方の定理や公式の派生形であることを理解できている。 与えられている三角形の長さや角度から判断して、適切に正弦・余弦定理を活用しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理・余弦定理・面積公式を活用して、三角形の長さ・角度・面積を求めようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						
3 学 期	5章 データの分析 【知識及び技能】 データを読み取りそのデータの代表値を求めることができる、箱ひげ図からデータを読み取ることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なデータを読み取り、比較することで与えられたデータの特徴を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 データを箱ひげ図やヒストグラムにし、データを読み取ることができるようになる。	・指導事項 代表値 ヒストグラム 箱ひげ図 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 データを読み取りそのデータの代表値を求めることができる、箱ひげ図からデータを読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なデータを読み取り、比較することで与えられたデータの特徴を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 データを箱ひげ図やヒストグラムにし、データを読み取ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						
備 考							合計 71

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科 保健体育 科目 体育

対象学年組： 第 2 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 鈴木 悠太
使用教科書： 発行者 大修館 教科書記号・番号 保体701 教科書名 現代高等保健体育
教科 「保健体育」 の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を活用できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を探究し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 「体育」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、技能を活用する。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見・探究し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の個性を大切にする意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
	A 体づくり運動 【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指すことができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・ リズムに乗って心が弾むような運動 ・ 緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・ いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 ・ 教材：教科書、学習カード ・ 一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・ 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ 運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・ ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・ 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	C 陸上競技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)短距離走・リレー (ウ)ハードル走 ・ 教材：教科書、学習カード ・ 一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・ 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・ 技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 【技能】 ・ スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・ スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。 【思考・判断・表現】 ・ 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・ 健康・安全を確保している。	○	○	○	10

1 学 期	E 球技 ウ ベースボール型 「ソフトボール」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する)ことができるようにする。 ウ ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする)、(作戦などについての話合いに貢献しようとする)、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、(互いに助け合い教え合おうとする)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。	ウ ソフトボール ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。 ・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」 【知識及び技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解することができる。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。	(ア)スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ)現代のスポーツの意義や価値 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて、言ったり書き出したりしている。また、近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、言ったり書き出したりしている。現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、言ったり書き出したりしている。オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	E 球技 イ ネット型 「バドミントン」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようになる。 イネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとすること)、(作戦などについての話し合いに貢献しようとする)、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)、(互いに助け合い教え合おうとすること)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。	イ バドミントン ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・サービスでは、シャトルをねらった場所に打つことができる。 ・シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 【思考・判断・表現】 ・バドミントンについて、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バドミントンの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	16
	E 球技 ア ゴール型 「サッカー」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようになる。 アゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・サッカーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)、(互いに助け合い教え合おうとすること)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。	ア サッカー ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 【思考・判断・表現】 ・サッカーの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・サッカーの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	10

H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」 【知識及び技能】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。	(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていくことについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
--	--	--	---	---	---	---

3 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、安全を確認することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・リズムに乗って心が弾むような運動 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	4
	E 球技 ア ゴール型「バスケットボール」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 アゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、安全を確認することができるようにする。	ア バスケットボール ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 【思考・判断・表現】 ・バスケットボールの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バスケットボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」 【知識及び技能】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。	(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・現代のスポーツの経済的效果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的效果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの経済的效果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

備考		合計
		76

高等学校 令和7年度（2学年用）		教科		保健体育		科目		保健	
対象学年組： 第 2 学年 M 組		単位数： 1 単位		教科担当者： 鈴木 悠太					
使用教科書： 発行者 大修館		教科書記号・番号 保体701		教科書名 現代高等保健体育					
教科 「保健体育」		の目標							
【知識及び技能】		各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付け日常生活に生かせるようにする。							
【思考力、判断力、表現力等】		運動や健康についての自己や社会の課題を発見・探究し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。							
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							
科目 「保健」		の目標							
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】					
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付け日常生活に生かせるようにする。		健康についての自己や社会の課題を発見・探究し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					

【作成の際の参考資料】

- 学習指導要領
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料)

教科、科目、学年、単位数、教科担当者、教科書情報をプルダウンリストから選択してください。
教科書を選択すれば、教科書の発行者、教科書番号・記号は自動で反映されます。

教科、科目の目標欄の「教科名」「科目名」は自動で反映されます。

教科・科目の目標は学習指導要領を参照し直接入力してください。

・単元の具体的な指導目標⇒単元ごとの目標を3観点それぞれで入力してください。

・指導項目・内容⇒指導事項や使用教材、ICTの活用などについて記入してください。

・評価規準⇒参考資料をもとに、単元で評価を行う観点の入力を行ってください。また、実際に評価を行う観点について表に○を入力してください（プルダウンで選択）

・配当時数⇒単元で計画している時数を入力してください。合計は2ページ目の最下部に反映されますので、単位時間数が1単位につき35単位時間を下らないようにしてください。

※学期ごとの入力枠（単元数）が不足したり、多すぎる場合は、列を挿入or削除して対応してください。（定期考査の枠も同様）

※年間で2ページ以内に収まるように文字のポイントや列の幅などを調整してください。

※単元名や目標等と1学期が1ページ目、2・3学期が2ページ目の設定となっています。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知・技	※	※	※	態	配当 時数
1 学期		⑦ 加齢と健康 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・中高年期を健康やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を築くこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解し他者に伝えることができる。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解し他者に伝えることができる。 【思考・判断・表現】 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。						2
		(イ) 労働と健康 ⑧ 労働災害と健康 ⑨ 働く人の健康の保持増進 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解し他者に伝えることができるようにする。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解し他者に伝えることができる。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解し他者に伝えることができる。 ・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを理解し他者に伝えることができる。 【思考・判断・表現】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理することができる。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に活用することができる。 ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働災害と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。						5
	定期考査								1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	※※※	態	配当 時数
2 学期	(4) 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	(ア)環境と健康 ①環境の汚染と健康 ②環境と健康に関わる対策 の環境衛生に関わる活動 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解し他者に伝えることができる。 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解できるようにする。また、そのために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的、計画的対策が講じられていることについて理解し他者に伝えることができる。 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて理解し他者に伝えることができる。 ・現状、問題点、対策などを総合的に把握し改善していかなければならないことについて、安全で良質な水の確保や廃棄物の処理と関連付けて理解し他者に伝えることができる。 【思考・判断・表現】 ・健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用すること。	○	○	○	3
		(イ)食品と健康 ①食品の安全性 ②食品衛生に関わる活動 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解し伝えることができる。 ・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解し他者に伝えることができる。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解し他者に伝えることができる。 【思考・判断・表現】 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知・技	※	※	※	態	配当 時数
2 学 期		(ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ⑦我が国の保健・医療制度 ⑧地域の保健・医療機関の活用 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も言めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解し他者に伝えることができる。 ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解し他者に伝えることができる。 【思考・判断・表現】 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○				○	4
		(ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ⑧ 医薬品の制度とその活用 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解し他者に伝えることができる。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて理解し他者に伝えることができる。 【思考・判断・表現】 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理することができる。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○				○	2
定期考査									1

